

第3章

商品売買

～学習内容～

- ・商品の仕入
- ・商品の売上

仕入れて売る

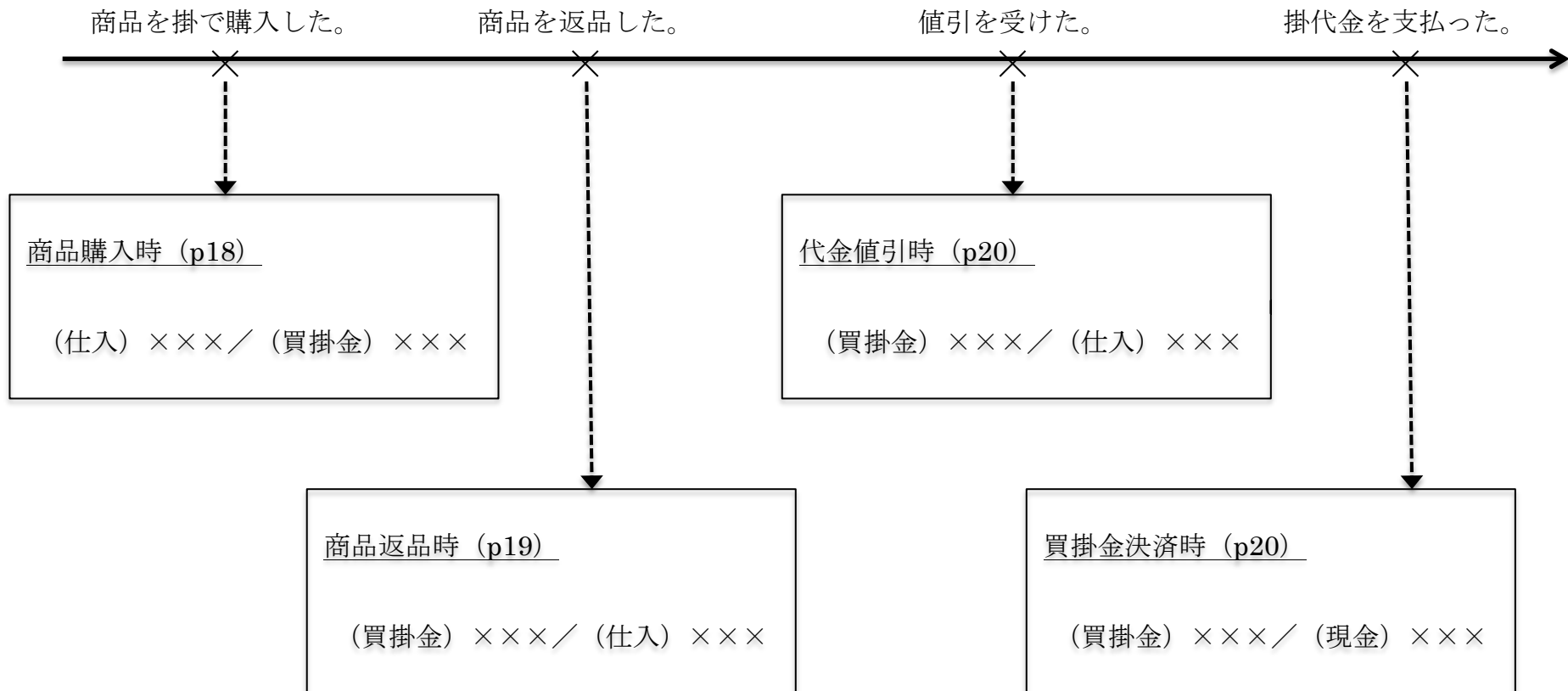
商売の基本だね♪



第3章 商品売買

第1節 商品の仕入

1. 取引の流れ



商品売買の処理には「三分法」や「分記法」といった方法があるんだけど、3級では「三分法」を前提とした処理が問われるから、このテキストでも「三分法」を前提に説明するよ。



2. 商品購入時

売るための商品を購入することを「仕入れる」といい、商品を仕入れた場合『仕入』（費用）を認識します。

また、仕入代金をその場で現金や小切手で支払うのではなく、後払いとし商品を仕入れることを「掛仕入（掛で仕入れる）」といい、この場合には、代金を後で支払う義務が生じるため『買掛金』（負債）を認識します。

【例3-1】

商品を100円で仕入れ、代金は掛とした。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
仕 入	100	買 掛 金	100

商品を仕入れる際に、送料や手数料などの費用がかかりますが、この費用のことを「仕入諸掛り」といいます。

仕入諸掛りは、当店（購入した側）と先方（販売した側）のいずれが負担するかによって処理が異なります。

仕入諸掛りを当店が負担する場合、『仕入』の金額（仕入原価）に含めて処理します。これに対し、先方が負担すべき仕入諸掛りを当店が立替払いした場合には、あとでお金を返してもらうことができる権利である『立替金』（資産）、または当店が負っているお金の支払義務の減少、すなわち『買掛金』（負債）の減少として処理します。なお、通常は当店（購入した側）が負担するので、問題で特に指示がない場合には前者の処理を行って下さい。

【例3-2】

商品を100円で仕入れ、代金は掛とした。なお、仕入れにかかった送料10円を現金で支払った。

当店負担				先方負担			
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
仕 入	110	買 掛 金	100	仕 入	100	買 掛 金	100
-	-	現 金	10	立 替 金	10	現 金	10
or							
仕 入	100	買 掛 金	90	仕 入	100	買 掛 金	90
-	-	現 金	10	-	-	現 金	10

3. 商品返品時

商品を仕入れた後に品違い等の理由で、商品を仕入先に戻すことがあります。このことを「仕入戻し（返品）」といいます。仕入戻しがあった場合には、商品仕入時に認識した仕訳を取り消します。

【例3-3】

以前、100円で掛仕入した商品に一部品違いがあったため、50円分を仕入先に戻した。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
買 掛 金	50	仕 入	50

代金値引時の処理は、商品返品時の処理と同じなんだ。だけど、異なる取引だから、それぞれの取引のイメージはもてるようにしてね。



4. 代金値引時

仕入れた商品に傷や汚れがあり、代金を一部まけてもらうことがあります。このことを「仕入値引」といいます。仕入値引があった場合には、商品仕入時に認識した仕訳を取り消します。

【例3-4】

以前、掛けで仕入れた商品に一部汚れがあったため、5円の値引きを受けた。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
買掛金	5	仕入	5

5. 買掛金決済時

商品を掛仕入した場合、その後代金を支払うことになります。このことを「**買掛金の決済**」といいます。買掛金の決済を行った場合、代金を支払う義務が消滅するため『買掛金』（負債）を取り崩します。

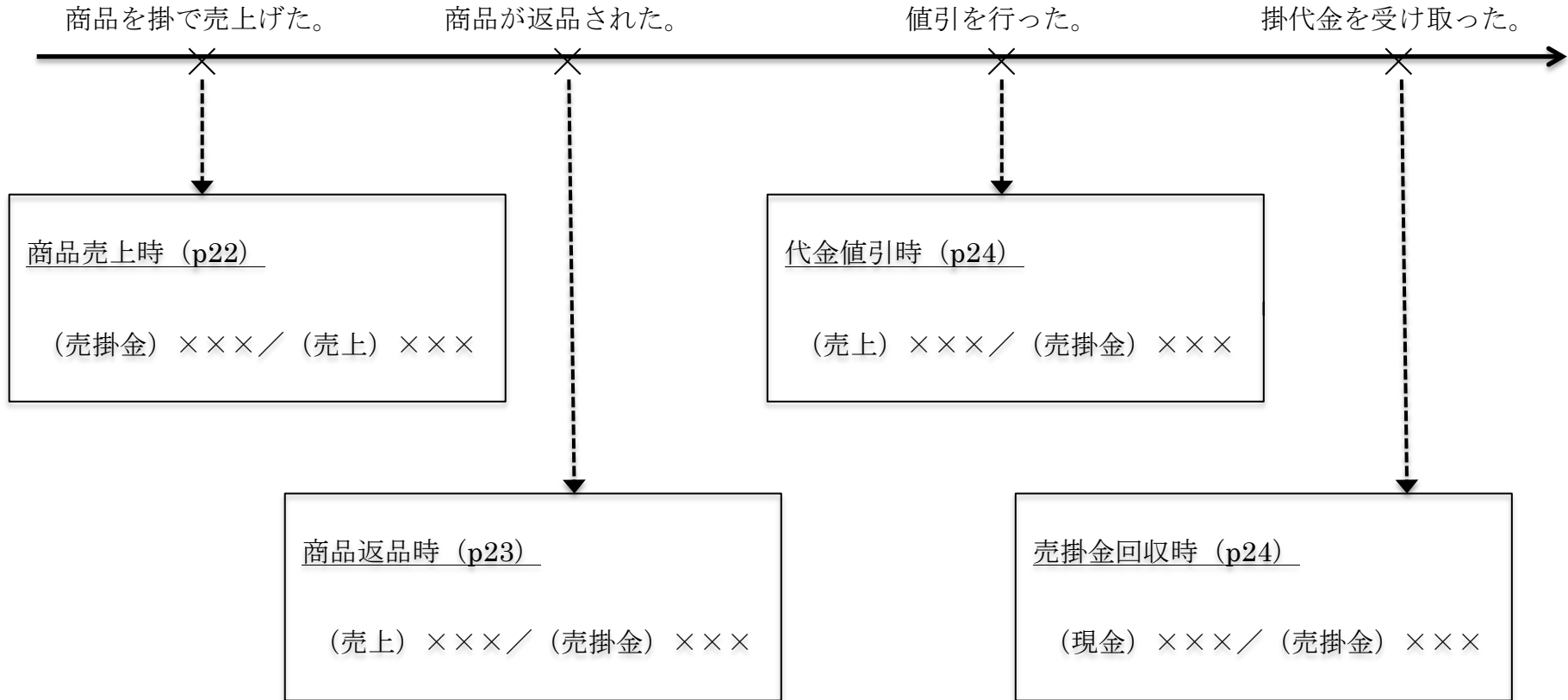
【例3-5】

買掛金100円を小切手を振り出して支払った。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
買掛金	100	当座預金	100

第2節 商品の売上

1. 取引の流れ



2. 商品売上時

商品を売ることを「**売上げる**」といい、商品を売上げた場合『売上』（収益）を認識します。

また、売上代金をその場で現金や小切手で受け取るのではなく、後払いとし商品を売上げることを「**掛売上（掛で売上げる）**」といい、この場合には、代金を後で受け取る権利が生じるため『売掛金』（資産）を認識します。

【例3-6】

商品を100円で売上げ、代金は掛とした。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
売掛金	100	売上	100

商品を売上げる際に、運送料や手数料などの費用がかかることがありますが、この費用のことを「**販売諸掛り**」といいます。

販売諸掛りは、当店（販売した側）と先方（購入した側）のいずれが負担するかによって処理が異なります。

販売諸掛りを当店が負担する場合『発送費』（費用）として処理します。これに対し、先方が負担すべき販売諸掛りを当店が立替払いした場合には、あとでお金を返してもらうことができる権利である『立替金』（資産）、または『売掛金』（資産）として処理します。

【例3-7】

商品を100円で売上げ、代金は掛とした。なお、販売にかかった運送料10円を現金で支払った。

当店負担				先方負担			
勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額	勘定科目	金額
売掛金	100	売上	100	売掛金	100	売上	100
送料	10	現金	10	立替金	10	現金	10
				or			
				売掛金	110	売上	100
				-	-	現金	10

3. 商品返品時

商品を売上げた後に品違い等の理由で、商品が得意先から戻ってることがあります。このことを「**売上戻り（返品）**」といいます。売上戻りがあった場合には、商品売上時に認識した仕訳を取り消します。

【例3-8】

以前、100円で掛売上した商品に一部品違いがあったため、50円分が得意先より戻された。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
売上	50	売掛金	50

代金値引時の処理は、商品返品時の処理と同じなんだ。だけど、異なる取引だから、それぞれの取引のイメージはもてるようにしてね。



4. 代金値引時

売上げた商品に傷や汚れがあり、代金を一部まけることがあります。このことを「**売上値引**」といいます。
売上値引があった場合には、商品売上時に認識した仕訳を取り消します。

【例3-9】

以前、掛けで売上げた商品に一部汚れがあったため、5円の値引きを行った。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
売 上	5	売 掛 金	5

5. 売掛金回収時

商品を掛売上した場合、その後代金を回収することになります。このことを「**売掛金の回収**」といいます。
売掛金の回収を行った場合、代金を受け取る権利が消滅するため、『売掛金』(資産)を取り崩します。

【例3-10】

売掛金100円を得意先振出の小切手により回収した。

勘定科目	金額	勘定科目	金額
現 金	100	売 掛 金	100